

第二期武蔵野市産業振興計画 (2019年度～2023年度)

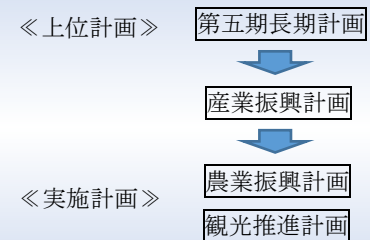
計画の位置づけ

武蔵野市産業振興計画は、武蔵野市第五期長期計画・調整計画(平成28年度～32年度)の中の「Ⅲ文化・市民生活」分野の個別計画として策定される産業分野全般を対象とした中位計画です。

また、武蔵野市農業振興基本計画(平成28(2016)年度～37(2025)年度)と、第二期武蔵野市観光推進計画(平成29(2017)年度～38(2026)年度)の上位に位置します。

1. 計画期間

平成31(2019)年度～平成35(2023)年度までの5か年



2. 計画策定の経緯

本計画の策定にあたっては、上位計画である武蔵野市第五期長期計画・調整計画、関連する他分野の各種計画、他委員会などからの報告や提案、アンケート調査・ヒアリング調査の結果などを踏まえて多様な市民意見を得るとともに、策定過程を公開しながら、以下のとおり取組んできました。

- (1) 武蔵野市産業振興計画策定委員会の設置…策定委員会10回開催、事例視察1回実施
- (2) 武蔵野市産業振興計画策定庁内推進本部の設置…策定庁内推進本部2回開催
- (3) 産業振興基礎調査(事前調査)等の実施…亜細亜大学と連携し、平成29年度に実施

武蔵野市の現況整理

- 緑豊かで利便性の高い暮らしやすい住宅都市として、人口は増加傾向が維持されるものの、他地域と同様に少子高齢化は進みつつあります。
- 産業面では、大きな構造変化は認められませんが、主力である小売業の販売額をはじめ、既存産業分野は売上や生産高が減少傾向にあります。
- 既存事業者は、後継者不足、事業承継などの問題を抱える一方で、高い賃料やオフィス床の不足などにより、新規出店や創業がしづらいといった課題もあります。

課題の整理と産業振興の方向性

1. 産業振興の方向性

これからも、住む人・働く人・まちを訪れる人、企業のいずれにとっても
魅力あるまちであり続けるための産業振興

- (1) これからも人気のあるまちであり続けるために、3駅圏ごとの地域性や地域資源を活かし、個性あるまちづくりを進めます
- (2) モノの消費だけではなく、豊富な地域資源を活かして、コトやトキの消費への対応も進めます
- (3) ICTやAIも活かし、高齢者や外国人も働きやすい、買い物のしやすい環境づくりを進めます
- (4) 新しい産業の担い手を増やすため、創業、起業、事業承継のためのマッチングや環境づくりを進めます

2. 武蔵野市が取り組むべき課題

(1) 武蔵野市の魅力や価値を活かした産業振興

本市の主要産業である小売業や既存産業分野は売上や生産高が減少傾向にあります。緑の豊かな良好な住環境、都心や多摩地区への高い交通利便性、多様な文化の集積など本市の魅力や価値を活かし、さらに高めていく産業振興を図っていく必要があります。

(2) 3駅圏ごとの特性と課題を踏まえた産業振興

吉祥寺駅周辺では、個人経営の出店や、新たな創業のハードルが高くなっています。また、三鷹駅、武蔵境駅の周辺整備に伴い回遊性や賑わいを創出する空間づくりを進めていく必要があります。3駅圏の特性に応じて、まちづくりと連携した産業振興が必要です。

(3) コンテンツを活かした新しい事業連携への取組み

本市にはアニメ関係の制作会社やクリエイターが多く存在し、ものづくりやデザイン、アートに関わる事業者やクリエイターも多数活動しています。これら豊富なコンテンツが十分に活かされていく状況です。コンテンツを活用し、新しい事業連携への取組みを図っていく必要があります。

(4) 地域生活を支えるサービスの充実

商店会の解散や、個店数の減少などに伴い、空き店舗が増加しています。都市部でも買い物困難者の増加が懸念されています。住む場所、暮らす場所としての魅力を維持し、地域内での消費を喚起していくためには、地域生活を支えるサービスの充実を図っていく必要があります。

(5) 情報化・国際化社会への対応

急速に進むグローバル化、ICT化により、小売業を始めとした市内事業者もこれらへの対応が迫られています。しかしながら、中小企業ではITの導入や効果的な活用が進んでいない状況です。事業者の電子化対応等を図り、情報化社会に備える必要があります。

(6) 市内産業を支える人材の育成と支援

結婚や出産、介護などを理由とした離職者や高齢者、今後増加が予想される障害者や外国人など多様な人材の就労や、新たな事業の参入にむけて、専門家や関係団体との連携を踏まえたハード・ソフトの両面からの環境づくりが必要です。

《武蔵野市の魅力を活かした取組みを紹介します》



環境問題と観光を組み合わせた「エコツーリズム」実証実験を実施。



アニメ制作会社の協力を得て、アニメをテーマに対象年齢に応じた教育型プログラムを実施。

基本理念と目標

1. 基本理念

“まちの魅力”を高め “豊かな暮らし”を支える 産業の振興

2. 基本目標

目標 1：武蔵野市の魅力や価値を高める産業振興

ライフスタイルや価値観の多様性を受容する時代において、多様な人々に選ばれる武蔵野市であり続けるために、地域の個性を活かし発信しながら、個々の期待に応えた産業の振興を図ります。

武蔵野市に暮らし、働き、学び、集う人々に、まちづくりや文化創造など多様な観点から、居心地の良い空間と充実した時間を提供します。



目標 2：地域生活を支え合う産業振興

“住みたいまち” “住んでよかったまち”として選ばれ続けるため、子どもから高齢者までが安心して暮らすことができ、住んでいる地域に誇りと愛着を持ち続けられるよう、個性ある店舗や飲食店をはじめ日常生活を支える身近な産業の振興を図ります。

商店会がキャッシュレス決済の導入等 ICT化の取り組みを支援することにより、商店会の競争力を上げ、地域の生活を支えます。



目標 3：都市の活力を担う産業振興

市内には、鉄道3駅（吉祥寺・三鷹・武蔵境）が設置されています。3つの駅はその周辺に特徴的な市街地を形成しており、安全・安心のまちづくりを推進しながら、新たな企業の進出や創業を誘発するハード・ソフトの展開等を図るとともに、既存事業の承継にむけた支援制度を検討します。

近年コンテンツ産業の集積が進むとともに、全国展開している複数の飲食業の本社等も進出しています。これらの事業者との連携により、様々な交流を図り、地域の活性化につなげます。



目標 4：情報化や国際化に対応した産業振興

ICT・AI等の技術が日進月歩で進化していくことを背景に、「ヒト、モノ、カネ、情報」等が国境を越えて行き交うグローバル化が一層進展しています。このような時代にあって、従来の事業のあり方を見直し、必要な変革が求められています。

市内事業者のICT化やグローバル化への取り組みに対し、将来にわたり競争力を保てるよう支援していきます。



目標 5：武蔵野市内で働く多様な人材による産業振興

人口減少社会の進行に伴い、労働力不足の慢性化が顕著になっています。女性や高齢者等の参画に加え、出入国管理・難民認定法の一部改正により、様々な職場で外国人の就労が増えることが見込まれます。労働力を確保するためには、事業者側にも新しい働き方への対応が必要であり、働く人の事情に合わせた柔軟な勤務制度等の検討が求められます。

これらの多様な人材が、心地よく働き続けることのできる環境の整備や、働くことを希望する市民を支援する開かれた産業の振興を図ります。



計画の体系

基本理念 “まちの魅力”を高め“豊かな暮らし”を支える産業の振興

基本目標	基本施策	施策（★：重点事業）		
-目標 1- 武蔵野市の魅力 や価値を高める 産業振興	(1) 武蔵野市の特性を 活かした産業振興	★①武蔵野市の魅力や価値を高める発信		
		②駅周辺への新規産業の誘致・育成		
		★③産業と福祉の連携		
		★④都市農業の振興と農地の保全		
-目標 2- 地域生活を支え 合う産業振興	(2) 都市観光の推進	★⑤コンテンツを活かした事業連携への取組み		
		①来街者を集める魅力的なイベント等への支援		
		②武蔵野市ならではの魅力的な店舗を活かしたイベントや発信の検討		
		①魅力ある店舗の支援		
-目標 3- 都市の活力を担 う産業振興	(1) 生活を支えるサー ビス(飲食業・小売 業・サービス業等) の維持・発展	②商店街や大型店の広域連携の支援		
		③商店街の環境整備の推進		
		④空き店舗等への出店支援体制の検討		
		(2) 市民ニーズ等に対応 したサービスの充実	①高齢者等の買い物支援策の検討	
		②民間サービスを活用した子育て支援策の検討		
		-目標 4- 情報化や国際化 に対応した産業 振興	(1) 3 駅圏ごとの特性 に応じたまちづく り	①吉祥寺駅周辺
②三鷹駅周辺				
③武蔵境駅周辺				
④安全・安心のためのまちづくり				
-目標 5- 武蔵野市内で働 く多様な人材に よる産業振興	(2) 産業基盤の安定化 の推進			★①むさしの産業サポートネット(仮称)の設立
				②女性・若者の創業支援
		③高齢者の創業支援		
		④事業承継支援		
		⑤市制度融資や補助金のあり方の見直し		
		⑥市内産業に関する定期的な調査の実施		
-目標 4- 情報化や国際化 に対応した産業 振興	(1) 情報化への対応	★①キャッシュレス決済等 ICT 化への支援		
		②ICT 技術導入を支援する制度融資の検討		
		③サイバーセキュリティ等への対応		
		-目標 5- 武蔵野市内で働 く多様な人材に よる産業振興	(2) 国際化への対応	①情報収集と相談窓口の設置
②外国人労働者の増加に対する対応の検討				
-目標 5- 武蔵野市内で働 く多様な人材に よる産業振興	(1) 新しい働き方への 対応			★①ワーク・ライフ・バランスの市民や事業者向けの啓発
				②女性・若者の雇用・就労支援
		③高齢者の雇用・就労支援		
		④障害者等の雇用・就労支援		
-目標 5- 武蔵野市内で働 く多様な人材に よる産業振興	(2) 人材の育成と活用	⑤外国人労働者の増加への対応		
		①商工会議所等と連携した経営支援の強化		
		②大学生の活躍の場づくり		

計画の推進と見直し

実施にあたっては、産業分野に関わるあらゆる市民や関係機関と連携した取組みを推進していきます。また、本計画に掲げる具体的施策について、その進捗状況を評価し、次年度の取組に反映できるように進めていきます。なお、次期計画の改定は、平成 35(2023)年度を目途に行うものとします。